



新宿区

『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成29年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
平成29年2月14日(火)

事業名	防犯対策の推進(自動通話録音機設置事業)	予算(案)の概要	98 ページ
予算額	2,688 千円 (新規) (前年度予算額 0 千円)		
取材先	危機管理担当部安全・安心対策担当副参事 薬師寺 (電話 03-5273-4236)		

## 事業概要

趣意

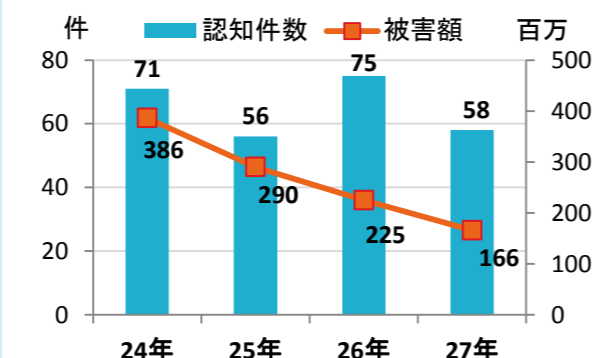
特殊詐欺において、犯人から電話での接触が多く、極力犯人との接触(会話)をなくすことが効果的であることから、警告メッセージが流れ、通話内容を録音する、自動通話録音機を購入し、区内における特殊詐欺被害の抑止及び未然防止を図る。

### 29年度の施策

27年度に東京都の「自動通話録音機設置事業」により都から区に譲渡された自動通話録音機220台は28年度時点ですべて貸付を終えた。29年からは、区で自動通話録音機を購入し、区内4警察署の協力のもと、区民に幅広く普及できるようにする。

### 特殊詐欺の現状

区内における特殊詐欺被害の件数は、過去4年間に於いて増減を繰り返している。また、被害額においては、減少傾向にあるものの、27年時点で1億円を超えている。被害者は、60歳以上の方が8割を占め、区としては依然深刻な問題と捉えている。



(新宿区特殊詐欺被害・認知件数及び被害額)

### これまでの区の施策

#### 【特殊詐欺の対策に関する覚書締結】

平成28年10月に区内4警察署及び東京都宅地建物業協会新宿支部、全日本不動産協会東京都本部新宿支部との間で振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の犯罪防止を図るための覚書締結。

#### 【自動通話録音機設置事業(27~28年度)】

東京都が実施した特殊詐欺対策につき、都から自動通話録音機220台の譲渡を受け、申請のあった区民に貸付を実施。

## 自動通話録音機設置事業の概要

### 自動通話録音機について

機器説明	電話がかかってくると自動で警告メッセージが流れ、通話内容を録音する機械です。メッセージが流れた後に、呼び出し音があり、通常の電話機能により通話が可能です。 【メッセージ例】 「この電話は、振り込め詐欺被害防止のため自動録音されます」
効果	警告メッセージと録音機能により、被害の未然防止が望める。東京都の「自動通話録音機設置事業」を活用し、自動通話録音機を設置した世帯において特殊詐欺被害の報告は1件もない。
貸出条件等	区内在住で65歳以上の高齢者がいる世帯

(イメージ画像)



### 自動通話録音機設置事業

#### 予算

予算額: 2,688千円【5,375円(税込)/台×500台】

29年度からは、東京都の「自動通話録音機設置促進補助金交付事業」を活用。  
東京都: 購入経費の1/2を補助 区: 購入経費の1/2を負担

#### 購入

購入予定台数: 500台

購入後、区で貸付を実施する100台を除き、400台を区内4警察署に配布し、区民への貸付を依頼する。

新宿警察: 100台 四谷警察: 100台 戸塚警察: 100台 牛込警察: 100台  
※警察からも貸付を行うことにより、区民に幅広く普及できるようにする。

#### 周知

広報紙・ホームページにて周知活動

広報しんじゅく、区のホームページにて貸付要件等の周知を実施する。

#### 貸付

区及び区内4警察署から区民に貸付を実施

平成29年4月1日施行の「新宿区自動通話録音機貸付要綱」に基づき、区内在住の65歳以上の高齢者がいる世帯に貸付を実施。

【貸付手順】

区及び警察に申込書を提出⇒区で申込書を保管及び審査⇒区から申込者に貸付決定・不決定通知を送付⇒区及び警察にて自動通話録音機を貸付⇒区で管理簿に記録

特殊詐欺被害の撲滅！！

【出典】 新宿区特殊詐欺被害・認知件数及び被害額：関係行政機関から提供されたデータを区で手集計した数値